



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月20日

上場会社名 株式会社タカヨー 上場取引所 東  
 コード番号 7590 URL http://www.takasho.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部長 (氏名)井上 淳 (TEL)073(482)4128  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年1月21日～平成26年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	14,407	1.1	688	△36.3	742	△30.2	417	△34.2
26年1月期第3四半期	14,250	7.0	1,080	△2.9	1,063	△0.3	635	1.8

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 449 百万円 (△29.0%) 26年1月期第3四半期 633 百万円 (2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	34 03	— —
26年1月期第3四半期	54 51	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第3四半期	17,075	7,494	43.4
26年1月期	14,914	7,278	48.3

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 7,418 百万円 26年1月期 7,210 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	— —	0 00	— —	19 00	19 00
27年1月期	— —	0 00	— —		
27年1月期(予想)				17 00	17 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年1月21日～平成27年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,130	0.3	670	△33.4	710	△27.1	400	△21.3	32 58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期3Q	12,379,814株	26年1月期	12,379,814株
27年1月期3Q	101,362株	26年1月期	101,362株
27年1月期3Q	12,278,452株	26年1月期3Q	11,656,135株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予測値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や海外景気の持ち直しが作用し緩やかな回復基調で推移したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による仕入価格の上昇など不安材料もあり先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、消費税率引き上げの影響による駆け込み需要などにより新設住宅着工数は低水準ながら増加基調となったものの消費税率引き上げ後の需要の落ち込みや大雪による雪害等による施工業者の不足等、厳しい状況が続いておりますがこのような状況において、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋であるという考え方「5thROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)による自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充と市場への啓発活動を行いました。さらに当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」を2014年5月より全国10会場で開催し市場啓蒙活動に注力してまいりました。

売上高につきまして、プロユース部門では、昨年より本格的に参入し積極的に投資してまいりました、エクステリア市場向け商品の販売が順調に推移いたしました。そのなかでもアルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いた「アートポート」シリーズや「アートフェンス」シリーズの販売が顕著に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」がガーデンエクステリアとして使用されるほか、一部のアイテムにおいて変色や剥がれに対する5年保証制度により建材としても使用されることから販売が順調に推移いたしました。また、非住宅分野向けに立ち上げました景観建材事業部の販売も微増ではありますが、伸びてまいりました。

さらに、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライトならびに100ボルトLEDライト等の新アイテムを市場に投入した結果、照明機器の販売が堅調に推移したこと等により前年同四半期と比べ増加いたしました。

ホームユース部門では第2四半期連結累計期間以降、気候の回復により日除け商品の売上が伸び、また、季節商品となるイルミネーションライティング関連の商品が順調に売上を伸ばした結果、売上は前年同四半期と比べて増加いたしました。

海外展開におきましては、中国およびイギリスの販売子会社が順調に推移したことや、中国製造子会社において品質基準の強化や在庫管理機能とデリバリー体制の構築を図ったことにより、前年同四半期と比べて増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,407,732千円(前年同四半期比1.1%増)と増収となりました。利益面においては、為替の影響等による売上総利益率の減少ならびに今後の売上拡大を目的とした先行投資となる生産設備の導入等による営業費用の増加により営業利益688,487千円(前年同四半期比36.3%減)、経常利益742,108千円(前年同四半期比30.2%減)、四半期純利益417,885千円(前年同四半期比34.2%減)と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,075,580千円(前連結会計年度末と比べ2,161,280千円増)となりました。

流動資産においては、プロユース部門の売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,324,688千円(前連結会計年度末と比べ947,761千円増)となりました。また、販売に向けた在庫保管によりたな卸資産が4,329,980千円(前連結会計年度末と比べ735,141千円増)となりました。

固定資産においては、設備投資により機械装置及び運搬具が164,367千円(前連結会計年度末と比べ15,080千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が3,553,116千円(前連結会計年度末と比べ1,206,142千円増)、また前連結会計年度において取引銀行3行とシンジケーション方式によるコミットメントライン契約を締結し運転資金を長期借入金から短期借入金へと移行させたことにより短期借入金が2,119,758千円(前連結会計年度末と比べ1,305,108千円増)となりました。

固定負債においては、運転資金を長期借入金から短期借入金へ移行させたことにより長期借入金が1,569,387千円(前連結会計年度末と比べ754,944千円減)となりました。

純資産においては、その他の包括利益累計額が増加したこと等により7,494,984千円(前連結会計年度末と比べ216,222千円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年11月18日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,820,897	2,412,583
受取手形及び売掛金	3,376,927	4,324,688
商品及び製品	2,802,732	3,380,966
仕掛品	214,667	250,886
原材料及び貯蔵品	577,437	698,126
繰延税金資産	134,427	257,791
その他	1,060,084	597,862
貸倒引当金	△68,918	△153,815
流動資産合計	9,918,255	11,769,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,414,349	2,404,541
土地	722,000	746,070
建設仮勘定	18,533	77,258
その他(純額)	398,563	430,152
有形固定資産合計	3,553,448	3,658,022
無形固定資産		
のれん	141,105	113,710
その他	633,209	571,865
無形固定資産合計	774,315	685,576
投資その他の資産		
投資有価証券	111,573	189,773
繰延税金資産	10,283	4,268
その他	601,675	821,977
貸倒引当金	△55,251	△53,129
投資その他の資産合計	668,280	962,890
固定資産合計	4,996,043	5,306,490
資産合計	14,914,299	17,075,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,346,974	3,553,116
短期借入金	814,650	2,119,758
1年内返済予定の長期借入金	1,116,886	1,077,938
未払法人税等	227,977	147,508
賞与引当金	56,388	144,678
その他	588,726	815,770
流動負債合計	5,151,603	7,858,771
固定負債		
長期借入金	2,324,332	1,569,387
退職給付引当金	1,013	98
資産除去債務	80,038	85,124
その他	78,548	67,213
固定負債合計	2,483,933	1,721,824
負債合計	7,635,537	9,580,595
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,307,776
資本剰余金	1,358,461	1,358,461
利益剰余金	4,156,389	4,340,984
自己株式	△26,468	△26,468
株主資本合計	6,796,158	6,980,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,015	70,118
繰延ヘッジ損益	115,255	39,495
為替換算調整勘定	278,602	328,097
その他の包括利益累計額合計	413,873	437,710
少数株主持分	68,730	76,520
純資産合計	7,278,762	7,494,984
負債純資産合計	14,914,299	17,075,580



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)
売上高	14,250,565	14,407,732
売上原価	8,320,279	8,519,854
売上総利益	5,930,285	5,887,877
販売費及び一般管理費	4,849,322	5,199,390
営業利益	1,080,963	688,487
営業外収益		
受取利息	4,601	3,971
受取配当金	1,555	1,757
受取手数料	28,988	45,901
為替差益	-	13,261
受取保険金	28,664	38,941
その他	30,110	31,070
営業外収益合計	93,920	134,904
営業外費用		
支払利息	53,802	51,937
為替差損	33,212	-
売上割引	12,872	20,289
その他	11,578	9,055
営業外費用合計	111,466	81,283
経常利益	1,063,417	742,108
特別利益		
固定資産売却益	-	188
受取和解金	21,837	-
特別利益合計	21,837	188
特別損失		
固定資産除却損	5,066	2,789
特別損失合計	5,066	2,789
税金等調整前四半期純利益	1,080,188	739,507
法人税、住民税及び事業税	461,688	411,124
法人税等調整額	△21,756	△95,962
法人税等合計	439,932	315,162
少数株主損益調整前四半期純利益	640,256	424,344
少数株主利益	4,866	6,459
四半期純利益	635,390	417,885

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	640,256	424,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,432	50,103
繰延ヘッジ損益	△148,291	△75,760
為替換算調整勘定	131,907	50,825
その他の包括利益合計	△6,950	25,168
四半期包括利益	633,305	449,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,001	441,722
少数株主に係る四半期包括利益	11,304	7,790

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。